

【刊夕】日一卅月三



定部一錢 一月五錢 郵費五厘 廣告料五部 三十三字一十五錢 發行所 福島縣郡平町橋本三丁目 電話 〇三六三 常磐新報社 印刷所 常磐印刷株式會社

火耀短歌編輯を やめるに際して

白木英尾

昨年十一月以來私たちの爲め貴重な一頁を割いて下さつた川崎社長の御厚意に先づ深く感謝しなければならぬ

私たちの歌が何を齎したか而して如何なる成果を得たかに就いて今余り多言しない、只私は自由律短歌の基礎が「火耀短歌」によつて略々築かれたと信じてゐる勿論平歌壇の範圍に於いて

私は今まで余りに威張張

り過ぎたかも知れない、面はゆい言葉をやしたかも知れないと思ふ

私は茲に私自身の勉強が課せられてある、「火耀短歌」を編輯してゆくことは到底時間がゆるして出来ない、匆忙の間に爲す仕事は決して満足なものでない

勿論私は歌を捨てるわけではない、寧ろ歌をより深く進めてゆく積りである、今後或は適當な機會に於いて私たちがかりの何か、與へられる時が来るかも知れない、その時は「火耀短歌」に據つてくれた人々は更生の心を脈々と波打たせて集

火耀短歌

求めても求めても遠い幸福!どこまで行つたらあるだらうな
きれいにつぎをした足袋だ、母の氣持に泣いてゐる

野村さち子

きつぱり断はつた自分、まるで他人の様に
なつてゐる
明らかに喋つてゐる私よ、お前の憂鬱はど
うするのだ

つて戴きたいと思ふ、また戴けるものと信じてゐる

再び言ふが自由律短歌の基礎は「火耀短歌」によつて決定されてきた、然しこの基礎の上に完成せしむるものは他に俟つところがあると思ふ

然しそれが爲めに「火耀短歌」を捨てるのが良いか悪いか私は知りたくないこの次ぎに生れるものは無論この延長とみて差支へないものであらう

残されたことは私たちが今後如何なる途によつて完成への歩みをつづけるかである

それは私たちが各自が歌に對する氣持の濃淡によつて決定される處であつて私は必ずしも指導の立場に立たない

今後健康な心と軀とを持續して私たちが再び歌の道へ精進して行きたい、最後に私たちの歌を今まで見て戴いた各位に厚く御禮を申上げて擱筆する

質物一般

三井質店

平町四丁目南川岸通り
電話 六〇六香

慢性諸病ニ的確ナ
紫外光線治療

天佑堂

治療時間 自午前九時 至午後九時
平町一九 (藤田女學校) (南横通り)
末廣亭向ヒ

鳥料理

末廣

番一四電

貸切は!

親しみあるサービス
を以つて知られたる

尼子タクシーへ

電話六四〇番

主任 澤正路

甘餘名博士 推奨

胃腸病、婦人病必治法

價定 特大 拾參圓
特小 拾圓



期間 自三月一日 至三月卅一日
景品 特大一ケニ付器法藥一ケ
特小一ケニ付艾一ケ
其他粗品進呈
平町五丁目廿八
志賀齒科醫院
平町白銀町九
産婆 關口悦子

別科 (1)本科五十名 (2)裁縫專修科百名
(3)師範科三十名 (4)専攻科二十名
(5)第二學年編入若干名

藤田女學校生徒募集

注意 入學志望ノ方ハ至急願書提出ノコト
詳細ハ本校宛學則請求サレタシ
福島縣平町田町電話「三二八」番

開票

郡下タクシー界の

人氣投票

(三月卅一日正午現在)

三、一六二	尼子タクシー(平)
二、〇〇七	三九二タクシー(平)
一、六八五	三井タクシー(平)
一、四三九	海氣館タクシー(四倉)
一、四二五	旭タクシー(四倉)
一、一四一	磐城タクシー(平)
一、一三一	芹澤タクシー(平)
八四九	野崎タクシー(平)
八二七	昭和タクシー(平)
二六一	菊地タクシー(平)
八五	植田タクシー(植田)
七七	すまやタクシー(小名)
三四	鈴木タクシー(湯本)

尼子さながらに 天馬駆けるごと

芹澤の押し意外に強く 海氣館、旭を追ひ越す

本社の郡下タクシー界人氣投票も愈々切迫した観があつて先づ尼子タクシーがさながら天空を駆ける天馬の如く二千五十一票から一躍千余票を加へて三千百六十二票となつたので茲に初めて當選圏内に入つたと言つてよいが新進芹澤も亦風雲に鞭つて早くも千点を突破し他者を啞然たらしめたもの、四倉にあつて覇を争ふ海氣館と旭は海氣館常に押

路が狹隘の爲め車馬ボンブ等の交通が不能の爲め村土木委員に圖つて工費一百六十圓を投じて道路を九尺とし延長二百間の改修工事を行つたが三十日竣工した

小名濱公設の 質屋維持難

入質數僅少

石城郡小名濱町では来る十五日公益質店を同町本町に開店したが開店より二十九日まで十五日間の入質數は十三口、貸付總金額四十六圓十錢で營業不振の爲め維持難を來しつゝあると

軍人後援會へ寄附

左の諸氏は今回帝國軍人後援會本縣支會に對し各金五十圓宛を寄附したので近く特別會員に推薦される

- △石城郡内郷村佐藤三平
- △同郡久之濱町橋本久太郎
- △同郡高屋一雄△同郡四倉町小湊宗吉△伊達郡掛田町高野喜七

入山礦公休日

石城郡湯本町入山炭礦會社では四月中の公休日左の如く決定した

- 一日、八日、十五日、十六日、十七日、二十三日、二十九日

小島、御台境間 道路竣工

九尺巾に擴張

石城郡内郷村大字小島では同字より御臺境に通ずる道

村大利、永戸村渡戸 △三十一日澤渡村下市萱三坂村鹽 △一日永戸村下永井、三坂村中三坂、澤渡村上市萱

△二日永戸村合戸、三坂村上三澤

△三日三坂村下三坂、澤渡村中寺、永戸村上永井

豊間養蠶總會 石城郡豊間村養蠶組合では三十日午後一時より同村小學校に於て總會を開き六年度豫算其他を附議した

平養寺屋根替

石城郡上小川村前田直言守恵光山平養寺の屋根は從來葦葺の爲め腐朽してしまつたので今回二千八百圓を投じて瓦葺になしたと

傾城山神社祭典

石城郡入山炭礦會社の主催になる湯本町傾城山神社祭は来る五日舉行されるが大神樂、手踊等の余興あり大花火百二十發を上げる等相當盛大を豫想をされて居る

滿鮮土産談(二) 川崎小島

朝鮮も滿州も、車窓から眺める風景は誠に荒涼たるもので、山紫水明の環境に育てられた内地人の眼には他々する程の單調さだ、稀れに起伏重疊の山岳を見るにしても、全山茶褐色の枯草に覆はれた、其處には一本の木を見る事も出来ない全く禿山だらけである、

朝鮮では山に木が茂るとヌクテといふ恐ろしい猛獸が群れを爲して生棲し人畜に危害を興へるといふ傳説があり「木のあるを以つて尊し」とせず、ドンク片ッ端から伐採した、そして其跡には決して植林する事をしない、故に山といふ山は總べて丸裸となり、斯くは禿山づくめとなつたのである

滿州のある幼稚園の卒業式に臨んでの口演の際、

僕は此の禿山を引倒して「……汽車の窓から外の景色を眺めて居るとドノ山もドノ山も、ミンナ禿山ばかり「あの山にボサッとした木が生いて居たらどんなに眺めがよい事だらう、何とかして木を生やす事が出来ないものだらうか、ソウダ今度私のお話を聞いてくれる滿州の小さな皆様達が大さくなつた時にこそは、あの禿山にドツサリ木が植えつけられる事であらう」と考へながら見て居る

郡下タクシー界の 人氣投票懸賞募集

紙用票投	
名姓所住	名會商

常警毎日新聞社

明日の天気

北西の風天気よくなる見込み

- 前六、三〇 ラデオ体操
- 前八、四〇 経済市況
- 前九、〇〇 氣象通報
- 前九、〇〇 經濟市況
- 前九、一〇 料理献立「葱饅頭」高橋義雄發表日用品値段
- 前九、三〇 經濟市況
- 前一〇、三〇 家庭講座「鉄一丁あれば誰方にも

- 後二、三〇 經濟市況
- 後三、四〇 氣象通報
- 後三、五〇 經濟市況
- 後四、〇〇 全國ニュース
- 後五、三〇 經濟市況
- 後五、四〇 今晚の番組豫告
- 後六、〇〇 (子供の時間) 童話「炭團が笑つた時」青山精次
- 後六、三〇 最新自然科学講座「グイタミンの話」
- 前一一、四〇 經濟市況
- 正午 時報
- 後一〇、〇五 獨唱と管絃樂「アイダー舞踏曲」外獨唱平(第二講)永山武美

- 後七、〇〇 全國ニュース
- 後七、二五 講演「ファンタジア幻想曲」外山本輝代
- 後八、三〇 都踊「浮模様義士傳(京都歌舞練場より中継)ひき唄 里二愛松外十名 小鼓 福次外四名 大鼓 菊壽外五名
- 後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告 告知事項

春ほがらかに

あこがれの門へ

△第一步をふむ少年達

△警中合格者本日発表

縣立磐城中学校今年度入學者発表は本日正午同校に掲示されたがそれより早く或は自轉車を飛ばす者或は電話で問合せるもの等高月臺上は審判を待つ間の緊張した光景を呈したが懸て張出された発表を前にして悲喜交々やれ當つたやれ落つちたよとまるで總選舉開票日のラヂオ屋前のやうな騒ぎ因みに入學式は来る四月六日午後一時から舉行すると

警中入學者

(考査番號順發表)

- 猪狩功 大平光夫 箱崎彰 金成正雄 織内好文 猪狩依彦 遠藤清八 小松真治郎 坂本光平 坂本正一 志賀良度 佐藤方夫 阿部源一郎 佐藤久男 若松磯一 佐藤傳山本吉五郎 石井弘道 川島正巳 伊達頼弘 涌井勝美 吉田真 鈴木佐太雄 草野泰昌 楠正博 松崎榮一 坂本邦夫 本多正文 鈴木節長 佐藤健夫 上坂昇 高玉育彦 高木三郎 熊井健三 石川福太郎 三本松武 小野大 井上操 鈴木計 鈴木初 佐藤正 堀深 中軍實 大内二郎 志賀剛 根本義夫 渡邊宏 白土佐平次 市川英雄 二階堂孝一 關場安昌

- 齋藤浩 風間行雄 深谷榮助 高橋義助 吉田俊男 伊藤一良 小林克治 阿部順吉 齊藤賢一 小野幸雄 赤津徹 中澤登渡邊俊平 大谷好道 長瀬正次 加藤正明 長谷川元久 矢野繁雄 阿部康司 桂川隆英 東海林勇 新妻利雄 永山徳三郎 吉田勇二 浦山健二 矢野中也 猪狩正雄 猪狩友衛 木村清一 若松正 庄司猛夫 堀川洋示 金古正明 小川勝己 松崎善次 齋藤喜一郎 國井重次郎 井出久雄 前松陸郎 新妻政美 増子健一 澁谷嘉一 戸倉米造 永木與四郎 高木芳郎 武田恭三 門井洗 關内榮三 佐々木義弘 柳澤一郎 高野健 瀧川政一 若松英雄 齋藤乙弘 植田文夫 芳賀四郎 阿部瑞男 猪狩次男 佐藤信嘉 津田輝雄 早川榮久 猪狩一郎 志賀佐鈴木裕 岩崎勤 小金森卓爾 小島隆典 重田幸造 菅波七郎 熊谷朝田中英男 瀧口末吉 渡邊保一 猪狩勝己 森下藤雄 松原幸作 小牧忠雄 貝原孝正 佐藤利長 大友章 引地憲平 城野三郎 荻野弘 谷平嘉彰 殿木隆之 鈴木謙司 大

- 田正三 中野久男 小林房治 小野一 乾功 林義雄 酒井英世 渥美裕行 柴田忍 永山弘 大田修一 志賀豊 越智廣徳 佐藤稔 新妻忠直 三島五行 吉田秀男 岡常夫 高木實藏 矢吹利平 波立一二三 佐藤健治 長谷川充男 阿部知之 佐藤忠一 菅本久一 草野敏雄 中澤利夫 吉田伴三 藁谷政男 中島義男 高野光雄 古川良一 鈴木義雄 島崎英美 村山讓二 猪狩三千夫 小野景造 飯島徳治 野田照雄 松崎莊枝 花澤保夫 金子元彦 和田一郎 志田智一 小野清 長谷川磐雄 北郷通 山口善重 鈴木賢治 山野邊彌八郎 伊東儀郎 遠藤祐藏 鈴木正治 川瀬邦治 山添尚三 新妻正 鈴木晃 江尻清 中大矢吹功 北郷丈夫 小林二郎 會川三郎治 鈴木一夫 利根川正徳 鈴木正治 木田淑夫 丹野幾之助 四家又郎 小林康男 猪狩龜次郎 鈴木作男 野上龜男 佐々木誠一 佐藤正雄 小野昌彦 久栖兼道 雨宮四郎 齋藤秀夫 鈴木力 田久元 立 齋藤宏 根本吉光 佐藤忠司 菅野正雄 野木一夫 杉田敬一 山崎武 中島浩 河原田勉 鈴木弘 水野亨 酒井清一 遠藤景久 佐藤光 高木喬 水野吉己 清水一男 大竹勇雄 鳥居重信 大竹源一 大越三男 佐藤政雄 野崎勇 鈴木武男 村上辰良 築館實菊地正 佐藤行男

猫イラス自殺は

情夫と逃げた五十女

春めきて世は様々

石城郡内郷村白水入山居住者佐々木松藏同居人伊藤クラ(五)は三十日午後十一時頃自宅にて猫イラスを多量に燕下し自殺を遂げたが同人は昨年同郡飯野村上白土字上平花塚勝治と内縁關係にあつたにも不拘昨年未頃隣家の前記松藏と通じ勝治の不在中衣類全部及び三百五十圓記入の預金通帳を持参し手に手に取つて逃走し前記白水に潜伏して居たが最近勝治が兩名の行衛につい

ゼンリク婆縊死

磐炭長屋で

石城郡内郷村磐城炭礦長屋居住宮城縣遠田郡南中郷村生れ志田反五郎妻エキ(六)は三十日午後七時頃自室内に於て縊死を遂げたが原因は喘息病を患つて不治を悲觀した爲

一ヶ年半の判決に

上遠野不服控訴

悪代書に本日言渡す

司法代書の職業を奇貨として四千五百圓を詐欺横領した石城郡上遠野喜一郎(五)にかゝる判決言渡しは本日午前九時平支部に於て中島裁判長係り三笠檢事立會の

三坂村の男女が

輕井澤戀の道行き

▽……女の病弱に同情し
▽……淺間山中を相談

石城郡三坂村傳平三男松崎三伍(三)同村増澤ふく(三)の兩名は兼てから戀仲であつたがふくが肺結核のため常に虚弱な軀を嘆いてゐるのに同情して數日前兩名連れ立ち家出し淺間山中で中心せんと相談し信州輕井澤驛前及びすや旅館に滞在し輕井澤署員に取押へられ郷里の親を呼び出して引渡した

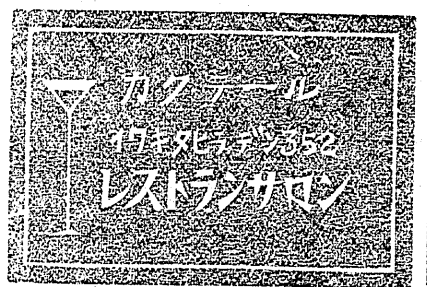
癩かん女中溺死

平町鍛冶町藝妓置屋玉川事國府田直良方女中石川やゑ(二)は三十日午前十一時ご

平町人事

△出 生
△死 亡

△撤種小路 千葉彦治氏三男忠彦
△四丁目七 石川アイ子(一八)
△長崎町一六 江川留吉(六四)



梅毒 淋病 皮膚病 婦人病
病淋 腸胃病 十二指腸 腸虫病

院醫科腸胃性村松
七〇一話電 町南平

謹啓 父鈴木平吉儀病氣の處療養不相叶本日午後一時死去仕候間此段謹告仕候 敬具

追て葬儀は来る四月一日午後二時平町町鈴木條三郎宅出棺良善寺に於て佛葬相替り申候

昭和六年三月二十九日

喪主 在東京
鈴木 増平
馬目 次郎
鈴木 雄三
鈴木 弘一



お加納の徳経 (其二)
 お千代は淋しく笑ひながら「ママは何んだね、今お客様がお出なのだよ、何處かへ行って遊んでお出で」と手を叩いて「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。



「看護婦急派」の求めに應じます。平町南町、電話三〇七番。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

印刷物の御用命
 常警日印刷株式會社
 電話三六〇番

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

平みや 玉子ケーキ
 十ヶ入金十銭

本品の特長
 一、本品は卵及び蜂蜜を多量含入製造したるものにして滋養豊富にて實に本品三ヶで卵一個の効力を有す
 一、日数を経るも軟かにして變味の憂ひ絶對なく子供、老人、病人、辨當代用、進物用として最も適す
 一、最新式機にて製造し大量生産なるが故に價格低廉なり
 平町三丁目 製造發賣元 たけや茶店

度量衡、計量器、吸入用酸素、酸素吸入器
關内藥局

電話四〇番

看護婦急派の求めに應じます
 平町南町 電話三〇七番

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める
 川崎巡迴文庫 電話六三〇番 (申込次第に書進呈)

ヨウモーターン!
 い服を求めたね 斷然三一年型だよ
正札堂
 例の……「ソレ」
 六三四電通場車停目丁四町平

貸切の御用命は?
獅子吼(四四九)ノ勢デ
眞先ニ……(マツサキ)
三九ニタクシ……!!!

お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。お千代は「ママ、ママ」と首を下げ下げてお出でなされた。

卒業紀念の御寫眞は富士カメラでお互に撮り合ひませう
 第一經濟で深い印象が残る 永久の記念寫眞となります
 富士カメラ
特別大賞品
 一等 美術置時計 一人
 二等 歐文タイプライター 三人
 三等 携帯用カバン 六人
 四等 エナメル塗金屬製バツト一組ツ、 十人
 五等 セルロイドバツト一組ツ、 二十人
 規定及び御不明の點は主催店へ御問合せ下さい
 富士カメラ 改正(自動位置見付 レフレックス型)
 ツバメ號 ファインダー付速寫式 一揃、一圓
 ツバメ號 ファインダー付 一揃、一圓
 ツクバ號 小學生練習用 一揃五十錢
 引伸器 金一圓より 二圓五十錢迄各種
 外材料一般いつも豊富に揃つて居ります
 平町前 **いづみや玩具店** 電話(呼六二〇番)
新入學生の贈り物は御携帯用に
ゼヒ時計を
 弊店はこの際腕時計の大廉賣を斷行致します
山崎時計専門店 (五丁目新川町通り) (吉田屋染物店前)